

**製品名: OX2R ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15548**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	37kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD200R1
別名	CD200R1; CD200R; CRTR2; MOX2R; OX2R; Cell surface glycoprotein CD200 receptor 1; CD200 cell surface glycoprotein receptor; Cell surface glycoprotein OX2 receptor 1
遺伝子 ID	131450.0
SwissProt ID	Q8TD46
免疫原	抗血清はヒト MOX2R 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

**背景**

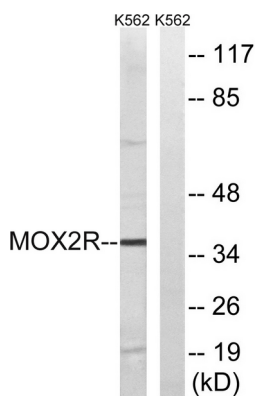
この遺伝子は OX-2 膜糖タンパク質の受容体をコードします。受容体と基質はともに細胞表面糖タンパク質であり、2つの免疫グロブ

リン様ドメインを有します。この受容体は骨髄系細胞の表面に局在し、受容体-基質相互作用は骨髄系のダウンレギュレーションシグナルとして機能する可能性があります。関連遺伝子を用いたマウス研究では、この相互作用が組織特異的に骨髄系機能を制御する可能性が示唆されています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: CD200/OX2 細胞表面糖タンパク質の受容体。HHV-8 K14 ウイルス CD200 ホモログにも、宿主 CD200 と同一の親和性および動態で結合します。、PTM:アイソフォーム 2 および/またはアイソフォーム 4 の成熟型は、対応するアイソフォームの配列位置 27 から始まります。、類似性:CD200R ファミリーに属します。、類似性:1つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。、類似性:1つの Ig 様 V 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。、サブユニット:ヒトヘルペスウイルス 8 型 vOX2 タンパク質と相互作用します。、組織特異性:顆粒球、単球、ほとんどの T 細胞、好中球、好塩基球、および NK 細胞、NKT 細胞、B 細胞のサブセット (タンパク質レベル) で発現します。骨髄、リンパ節、脾臓、肺、肝臓、脊髄、腎臓で発現します。単球由来樹状細胞および肥満細胞で発現します。

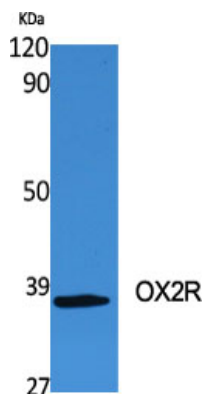
## 研究分野

シグナル伝達; シグナル伝達経路; G タンパク質シグナル伝達; GPCR; 代謝; 疾患の種類; 肥満; 神経科学; 神経伝達; 受容体/チャネル

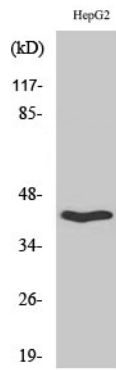
## 画像データ



MOX2R 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



OX2R ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



OX2R ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析